

2017年度 決算説明会資料 2017年度実績および2018年度業績見込

JT Group CFO 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド3、4に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
当期利益：	親会社の所有者に帰属する当期利益
Reduced-Risk Products： (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB： (Global Flagship Brands)	2017年まではWinston、Camel、MEVIUS、LD、B&H、Glamour、Sobranie、Silk Cut、Natural American Spiritの9ブランド；2018年よりWinston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランドに変更
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Reduced-Risk Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek込み
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Reduced-Risk Productsの売上込み

<用語の定義>

たばこ総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこの販売本数（Reduced-Risk Products等を含む）
紙巻総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Reduced-Risk Products等は除く）
紙巻販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Productsを含まない
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Ploom TECHのデバイス・カプセルを含むReduced-Risk Productsの売上込み

2017年度実績

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

5

全社実績

	(億円)	
	2017年度 実績	対前年度 増減
為替一定ベース		
調整後営業利益	5,832	-0.6%
財務報告ベース		
売上収益	21,397	-0.2%
調整後営業利益	5,853	-0.3%
営業利益	5,611	-5.4%
当期利益	3,924	-6.9%
FCF	726	+3,888億円

為替一定調整後営業利益

厳しい事業環境下においても前年同水準を確保

- ・ 一過性の損失計上影響を含む

財務報告ベース

- ・ 売上収益、調整後営業利益
- ・ 対前年ほぼフラット、為替影響は限定的
- ・ 営業利益、当期利益
- ・ 不動産関連売却益の相対的減少により減益
- ・ FCF
- ・ 買収関連支出の相対的減少を主因に増加

海外たばこ事業実績 – 数量・為替一定ベース

(億本, %)

数量実績

vs. 2016

総販売数量	3,985	-0.1%
GFB販売数量	2,859	+0.8%

堅調なパフォーマンスによる増益

- 様々な市場におけるシェア増
- フィリピン・インドネシアでの買収効果
- 柔軟なプライシングによる効果
- 製造拠点最適化等によるコスト低減の実現
- 一方、流通取引先の倒産申請に伴う損失を計上

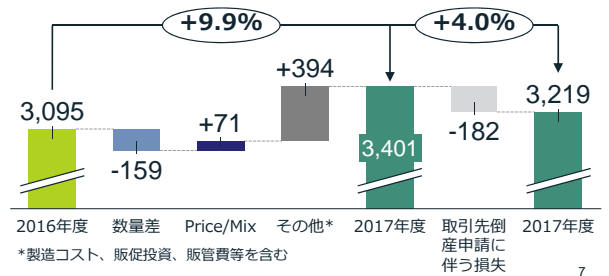
(百万US\$, %)

為替一定ベース

vs. 2016

自社たばこ製品 売上収益	10,457	-0.3%
調整後営業利益	3,219	+4.0%

為替一定調整後営業利益ロードマップ (百万US\$)



© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

7

海外たばこ事業実績 – 財務報告ベース

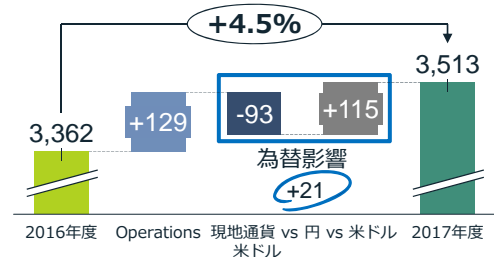
(百万US\$, %)

財務報告ドルベース

vs. 2016

自社たばこ製品 売上収益	10,498	+0.1%
調整後営業利益	3,138	+1.4%

調整後営業利益ロードマップ (億円)



(億円, %)

財務報告円ベース

vs. 2016

自社たばこ製品 売上収益	11,770	+3.4%
調整後営業利益	3,513	+4.5%

2017年度
為替レート

増減率

RUB/USD	58.35	15.0%高
GBP/USD	0.78	4.8%安
TRY/USD	3.64	17.2%安
JPY/USD	112.16	3.1%安

注：為替レートの詳細は決算補足資料5ページに記載

© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

8

国内たばこ事業実績 – 数量・シェア実績

(億本, %, %pt)	数量・シェア実績	vs. 2016
紙巻販売数量	929	-12.5%
紙巻シェア	61.3%	+0.3%pt
MEVIUSシェア	31.4%	-0.0%pt

紙巻販売数量は減少も、シェアは堅調

- 紙巻総需要は前年比12.9%減少
- エクイティ向上に引き続き注力し、紙巻シェアNo.1ポジションを強化
- 2016年4月の定価改定影響があったにも関わらず、MEVIUSが前年並みの水準に回復

Ploom TECHの販売エリア継続拡大

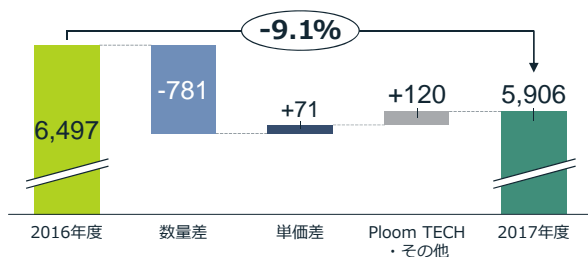
- 東京での販売エリアの拡大により、カプセルの販売数量は第4四半期に大きく増加

国内たばこ事業実績 – 財務実績

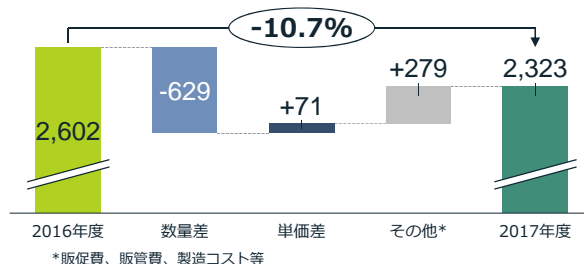
(億円, %)	財務実績	vs. 2016
自社たばこ製品 売上収益	5,906	-9.1%
調整後営業利益	2,323	-10.7%

投資水準最適化によるコスト減少はあるも、紙巻販売数量の減少により減益

自社たばこ製品売上収益ロードマップ (億円)



調整後営業利益ロードマップ (億円)



医薬・加工食品事業実績

(億円)	医薬事業	vs. 2016 (増減額)
売上収益	1,047	+175
調整後営業利益	241	+144

(億円)	加工食品事業	vs. 2016 (増減額)
売上収益	1,631	-9
調整後営業利益	54	+4

両事業で約150億円の利益成長を達成

- **医薬事業**
 - 導出品の販売拡大によるロイヤリティ収入が大幅に増加
 - 鳥居薬品の販売好調
- **加工食品事業**
 - 利益率が高い商品の販売強化およびコスト低減等により、5期連続の増益を実現

(このスライドは空白です)

2018年度業績見込

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

13

全社業績見込

	(億円)	
	2018年度 見込	対前年度 増減
為替一定ベース		
調整後営業利益	6,070	+3.7%
財務報告ベース		
売上収益	22,200	+3.8%
調整後営業利益	6,000	+2.5%
営業利益	5,610	-0.0%
当期利益	3,940	+0.4%
FCF	3,000	+2,274億円

為替一定調整後営業利益

チャレンジングな事業環境の中、事業投資を着実に推進しつつ、全社の利益成長を目指す

財務報告ベース

- 売上収益、調整後営業利益
 - ・ 海外たばこ事業でのトップライン成長回帰を主因に増収増益
- 営業利益、当期利益
 - ・ 前年の特殊要因がなくなることおよび買収に係る償却費の増加等により前年並み
- FCF
 - ・ RRP等への事業投資を予定

海外たばこ事業見込 - 為替一定ベース

(百万US\$, %)

為替一定ベース

vs. 2017

自社たばこ製品
売上収益

11,350

+8.1%

調整後営業利益

3,600

+14.7%

トップライン成長による増益を見込む

- 買収効果およびEmerging Marketsでの伸長による数量貢献
- プライシングが牽引するトップライン成長のトレンドに回帰
- 持続的な成長に向けた事業投資を継続

2018年 販売数量前提

- 総販売数量：約4%増加
(vs. 2017: 3,985億本)
- GFB*販売数量：約2%増加
(vs. 2017: 2,604億本*)

買収効果およびEmerging Marketsでの伸長により、総販売・GFB数量ともに増加

*GFB: Winston、Camel、Mevious、LDの4ブランド

海外たばこ事業見込 - 財務報告ベース

(百万US\$, %)

財務報告ドルベース

vs. 2017

自社たばこ製品
売上収益

11,500

+9.5%

調整後営業利益

3,600

+14.7%

(億円, %)

財務報告円ベース

vs. 2017

自社たばこ製品
売上収益

12,650

+7.5%

調整後営業利益

3,960

+12.7%

為替影響は限定的

	2018年度 為替前提レート	増減率
RUB/USD	58.00	0.6%高
GBP/USD	0.74	5.0%高
EUR/USD	0.83	6.9%高
CHF/USD	0.98	0.5%高
TWD/USD	29.50	3.2%高
TRY/USD	3.80	4.1%安
IRR/USD	43,600	11.0%安
JPY/USD	110.00	1.9%高

国内たばこ事業見込

(億円, %)

業績見込

vs. 2017

自社たばこ製品
売上収益

5,730

-3.0%

調整後営業利益

2,020

-13.0%

販売数量減少により減収減益を見込む

- Ploom TECHの拡販効果が紙巻販売数量減少影響を一部相殺
- 一定の前提を置いて増税に伴う定価改定効果を織り込む

持続的利益成長に向けた事業投資を推進

- 事業成長の柱として、RRPカテゴリへ重点的に投資
- 事業成長を支える基盤として、紙巻市場での更なるシェア獲得により、販売数量の最大化を図る

2018年国内たばこ市場についての見立て

- たばこ総需要：対前年で4%台後半の減少と想定（2017年の国内たばこ総需要は1,720億本と推計）
- 紙巻総需要：対前年で17%台半ばの減少と想定（2017年の紙巻総需要は1,514億本）
- RRP市場占有率：
2018年通年で23%程度と想定

2018年 業績見込の前提

- JT紙巻販売数量：対前年で16%台後半の減少
- RRPが自社たばこ製品売上収益に占める割合：
10%台半ば

© Copyright JT 2018

RRP: 喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品

Tokyo - February 7, 2018

JT Investor Meeting

17

医薬・加工食品事業見込

(億円, %)

医薬事業

vs. 2017

売上収益

1,090

+4.1%

調整後営業利益

250

+3.8%

(億円, %)

加工食品事業

vs. 2017

売上収益

1,650

+1.1%

調整後営業利益

55

+1.9%

引き続きJTグループの利益成長に貢献

- 医薬事業
 - 薬価改定に伴うマイナス影響等を見込むも、ロイヤリティ収入が引き続き増加
- 加工食品事業
 - 冷凍・常温加工食品および調味料の売上の増加を見込む
 - 供給能力拡充に向けた設備投資は着実に実施

© Copyright JT 2018

Tokyo - February 7, 2018

JT Investor Meeting

18

終わりに

Closing Remarks

- **利益成長率目標 (3ヶ年 CAGR)**

為替一定ベース調整後営業利益

Mid to high single-digit

- **一株当たり配当金**

- 2017年： **140円** (+7.7% vs. 2016)
- 2018年： **150円** (+7.1% vs. 2017)

